

令和6年度 牧之原市議会

議会広報特別委員会視察研修報告書

視察日 令和6年5月16日（木）

視察先 ◇エイベックス株式会社（エイベックス・アライアンス
&パートナーズ株式会社）（市民に手に取ってもらえる
広報、アピール技術について）
◇千葉県船橋市議会（議会広報について（議会だよりに
ついて））

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 種茂 和男

研 修 名	令和6年度 牧之原市議会議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和6年5月16日(木)
研 修 先	(1) エイベックス株式会社 (エイベックス・アライアンスパートナー&パートナーズ株式会社) (2) 千葉県船橋市議会
研修の目的	(1) エイベックス株式会社:市民に手に取ってもらえる広報、アピールの技術について (2) 千葉県船橋市議会:議会広報について(議会だよりについて)
<p>(1) エイベックス(株) 広報誌作成にも人が持つ無限のクリエイティビティを信じ、多彩な才能と感動を届け、市の豊かな未来を創造できるように、エンターテインメントの可能性に挑む広報誌作成に取り組む。</p> <p>●広報誌での見てもらえ、愛される誌面づくりは空間・時間の演出とルート観光また内容等物語、巡礼観光的流れで、読む人・見る人が入り込める作り方も良い。</p> <p>●議会広報誌と言う事で内容をめちやくちや固くするか、柔らかくするかも編集委員会で決めながら取り組む事も市民目線注目するのかな?写真等も子供さん達にポーズを取ってもらい写真を撮る。また学校のリーダー的な人、地域の活躍している人の写真の掲載も大事ですね! 広報誌を広めるのも地域の人だから!</p> <p>●メイドイン牧之原 地元の人などの牧之原を愛する人が発掘した牧之原の隠れた魅力を発掘して中に特集記事として入れるのも市民感覚での扱いも大事かな?</p> <p>●議員の情報を発信して人と人のつながり方、政策、考え方、発想を掲載し、市自体をテーマにして地域ニュース、情報を掲載し議員と市民のかけはし感を作る。</p>	

(2) 千葉県船橋市議会

●議会広報についてテーマ収集・編集・校正等の取り組みは・・・編集委員は12名で取り組み、原則年4回発行でページはフルカラーA4版16頁で掲載内容は表紙、議案の概要、議案質疑、各委員会報告、議案等の議決結果、会派の構成、一般質問、閉会中の委員会報告、お知らせ掲載内容に成っています。

●発行部数は300,000部で各団体、障害福祉施設、老人クラブ、一般事業者に全戸配布して頂いています。なかでも障害福祉施設17施設で239,124部を1部単価11円で配布して頂いています老人クラブ1部10円、良い活動資金に成るのかな？一般事業者は1部17円です。

●原稿作成及び編集に係るマニュアル・基準は広報委員会でピックアップした議案を市民にわかりやすい表現で掲載する。適宜、用語解説や写真等を掲載して補足する。一般質問は原稿を企画・財政・防災等のジャンルごとに掲載する。スケジュールはほぼ当市と同じぐらいの日程で4回の校正を経て発行定例会閉会后概ね1か月程度で発行に成っています。

●船橋市は点字版市議会だよりと音声版市議会だよりの発行もしています。点字版は視覚障害福祉協会に業務委託し、音声版市議会だよりは社会福祉法人にテープ・CD化及び発送を業務委託されています。

●市議会だよりを読んでもらうためにポスティングによる全戸配布をして、また議会への関心を高めるために小学生・中学生・高校生に議会見学会をひらいて意見交換会を実施したり、市内高校に出前講座を実施したり、市民の市議会や議員にたいする現状認識また今後市議会に求められる取組等について把握・分析するために船橋市議会アンケートを実施している。



視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 絹村 智昭

研 修 名	令和6年度 牧之原市議会議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和6年5月16日(木)
研 修 先	(1) エイベックス株式会社 (エイベックス・アライアンス&パートナーズ株式会社) (2) 千葉県船橋市議会
研修の目的	(1) エイベックス株式会社：市民に手に取ってもらえる広報、アピールの技術について (2) 千葉県船橋市議会：議会広報について (議会だよりについて)
<p>(1)エイベックス株式会社</p> <p>エンタテインメントの可能性に挑み続ける日本でも有名なエイベックス(株)に視察研修に伺いました。エイベックス(株)は時間と空間の演出、音声による地域貢献の話をして頂きました。市民に手に取ってもらう広報誌として・地域の話、ネタを集めストーリーを作ること・いつでもどこでもではなく、ここだけの冊子・市民も関わった冊子づくりをしていけばとアドバイス頂きました。内容では、堅くするなら堅く柔らかくするなら柔らかく中途半端にならないようにする、議会広報誌なので議員をわかってもらうように、趣味や好きな事得意な事等を掲載すれば市民の議員・議会への関心が高まると話して頂きました。エイベックス社員様の斬新な発想には驚かされました。この研修を今後の議会広報誌の作成に繋げて行ければと思います。</p> <p>(2)千葉県船橋市議会</p> <p>令和4年中核市議会報コンクールにおいて優秀賞を受賞した船橋市議会へ、議会広報誌について視察研修に伺いました。船橋市議会では、目の不自由な方のために音声版の「声の市議会だより」、「点字市議会だより」を発行しております。市民の誰もが読んで頂ける市民に優しい取り組みは素晴らしいと思います。また、冊子内容でも、フルカラーでメリハリのある構成になっていて非常に読みやすかった印象です。当市議会広報誌でも調査研究は必要ですが、船橋市議会を参考にして、全ての市民に優しい音声版・点字の議会広報誌の取り組みが出来たら素晴らしいなと感じました。非常に勉強になりました。</p>	

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 松下 定弘

研 修 名	令和6年度 牧之原市議会議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和6年5月16日(木)
研 修 先	(1) エイベックス株式会社 (エイベックス・アライアンス&パートナーズ株式会社) (2) 千葉県船橋市議会
研修の目的	(1) エイベックス株式会社：市民に手に取ってもらえる広報、アピールの技術について (2) 千葉県船橋市議会：議会広報について (議会だよりについて)
<p>(1) エイベックス株式会社</p> <p>・議会広報誌及び、議会だよりの広報誌作成の向上に向けた取り組みで、「市民に手に取ってもらえる広報誌」をどのようにすれば良いか、多様なエンターメントに精通した企業であり、「市民向けの広報誌」を目指すヒントを得るため視察しました。</p> <p>①親しみのある紙面の作成として、例えば同じ幼稚園児の写真を数回にわたり「ポーズ」などを取ると言った話がありました。これまでの広報誌面を飾るには、各園児の集合写真を順番形式で載せていたことに「時間をかけて取組む」考えに改めて作る側の意識改革が必要であると、気づかされました。次回から広報誌では、園児の集合写真も一通り回り切り、次回の表紙を飾るタイミングもあることから、挑戦する良い機会と思いました。</p> <p>②「市民に興味を待たせる」手法についてエイベックス社が、これまでの取り組み内容を聞き、「どうすればこちらを向くか」について一番力を入れていると考えます。参考になったのは、スマートフォンを活用した映像と音声の融合で、牧之原市の魅力を広報誌から発信できる仕組みに大変興味が湧きました。お話を聞いていると、牧之原市内のポテンシャルに今後の未来を感じます。これから手掛ける広報誌の在り方や「手に取って見たくなる」広報誌を目指す意味でも、今回の視察に可能性を感じるとともに取り組みたいと思います。</p>	

(2) 千葉県船橋市議会 議会広報について

・船橋市議事務局と船橋市議会広報委員副委員長に、ご対応いただきました。広報誌についての主な説明は事務局から、これまでの市議会だよりの概要から始まり、これまでの取り組み内容をご説明後、こちらから事前質問の回答などをお聞きしました。

船橋市の人口は、64万6,322人(R5.4.1)市議会議員50人 広報委員12人と、牧之原市とは比べにならない程の規模です。すべての取り組みに到底まねのできるとは言えませんが、参考になる取り組みがいくつかありました。

～良いと思った取り組み～

①議会だよりと広報誌の配布方法は、全世帯へポストイング（配布部数：約30万部）を障がい福祉施設等に依頼し（全体の80.5%）他、地区社会福祉協議会1団体（1.7%）老人クラブ6団体（1.2%）一般事業者1事業者（16.6%）に配布物の分配を出し、全般にいきわたり、障害者団体にも配布収益が出る方式がありました。現在の牧之原市では、各自治会にお願いしている現状ですが、自治会そのものの存在が危ぶまれる中、今後コストがかかることに対する配布方式も考えられます。

②一般質問の原稿は、会派ごとではなく「企画・財政」「防災」などのジャンルに分けた掲載方式を取っている点。牧之原市議会に現在会派はありませんが、質問順番で掲載され、一般質問のジャンル別の方が、市民にとって見やすいと思いました。

総評

企業の視点・自治体の視点の両立は、難しいところではありますが、「どのような方法や手段」で市民に広報誌や議会だよりに興味を持っていただく「テーマ」として今回の日帰り視察を行いました。少しでも今回の視察したことを、活かしていきたいと思います。船橋市議会では、紙面に「UD トーク」（音声認識ソフト）の取り込みを船橋市では既に行っています。こうした視覚障害者向けの字幕配信導入についても今後牧之原市にも必要性を感じます。そうした取り組みから生まれた牧之原市の魅力紹介をエイベックスと融合出来たらなど、視野が広がりました。

以上です。

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 木村正利

研修名	令和6年度 牧之原市議会議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和6年5月16日(木)
研修先	(1) エイベックス株式会社 (エイベックス・アライアンス&パートナーズ株式会社) (2) 千葉県船橋市議会
研修の目的	(1) エイベックス株式会社：市民に手に取ってもらえる広報、アピールの技術について (2) 千葉県船橋市議会：議会広報について (議会だよりについて)
エイベックス本社視察報告書 1. 視察日：2024年5月16日 2. 場所：エイベックス本社 10F 会議室 3. 報告者： 木村正利 4. 視察目的： 市民に手に取ってもらえる広報、アピールの技術 5. 視察内容： ● 主要事業とその取り組み 音楽事業、芸能事務所事業、ライブ公演事業、デジタル事業、アニメ・ゲーム・XR コンテンツ制作事業とコアな事業から進化している。 ● 社会貢献活動（例：地域イベントの支援、アーティスト育成プログラムなど） 地方創生事業に取りんでいる 6. 感想・学び： ● 議会広報紙を手に取ってもらう新たな視点 説明に当たった渡部志さんから、当牧之原市議会だよりを市民に手に取ってもらうにはという視点から、学んだ事として、両極端で攻める事。硬い広報紙なら極端に硬いイメージ。また、若者が見やすいアニメなど視覚で攻める広報紙という手法。	

- 地域社会との連携方法の参考事例
ヒット（賑わい）を生み出すノウハウ・ソリューションと牧之原観光アセットと掛け合わせる
新たな発想も必要と感じました。
牧之原市議会も「市民の声を市政に」という事が最優先であり、今回の視察でも、牧之原市のクリエイターは地元の人であると説明されています。
正に、新参加型議会広報紙が必要と感じます。

7. 提案・今後の課題:

- 地域行政との連携強化
今回の縁は、まきのはらビジネスチャレンジコンテストに参加された事から、今後、音声 AR を活用して観光ルートの取組、牧之原のブランド化の推進、活性化につなげる事になればと思います。
- 地域イベントへの積極的参加と支援
今後、エーベックスとコラボできれば、牧之原市の新たな発信力のあるブランドになるのではと思います。

船橋市議会視察報告書

1. 視察日: 2024年5月16日午後2時
2. 場所: 船橋市議会会議室
3. 報告者: 木村正利
4. 視察目的:
 - 議会広報について（議会だよりについて）

5. 視察内容:

市議会だよりについて

概要

- 創刊: 昭和39年3月10日創刊。現在258号発行（予定）。
- 発行回数: 原則年間4回（改選等により、臨時会が開催された場合には、臨時会号もしくは定例会+臨時会号が発行される）。
- 発行月・ページ数:
 - 定例会号: 16ページ（増ページ版20ページ）
 - 臨時会号: 4ページ
- 部数: 約300,000部/回（令和4年発行部数: 119万2,400部）
- 配布先: 市内全世帯、市内公共施設、駅など
- 規格:
 - 判型: A4判中綴じ穴あけ（2穴）
 - 紙質: コート紙4/6判68Kg
 - 印刷方法: オフセット印刷

配布方法

1. 印刷業者 → 障害福祉施設・地区社会福祉協議会・老人クラブ等 → 配布可能な地域の世帯
2. 印刷業者 → 一般事業者 → 残りの世帯
※ 障害者の就労支援、高齢者の健康増進の観点から、配布可能な地域については、障害福祉施設、地区社会福祉協議会や老人クラブ等に配達を依頼している。

発行費用（令和3年度）

- 1部（16ページ）あたり印刷製本費：@8.80円
- ポスティング費用：
 - @11.00円（障害福祉施設）
 - @10.00円（高齢者団体）
 - @17.00円（一般事業者）

※ 全て税抜き単価 ※ 20ページの場合は、印刷製本費が@12.15円に、障害福祉施設のポスティング費用が@12.00円となる（高齢者団体、一般事業者については、変更なし）。

その他の議会だより

- カセットテープ・CDによる「声の市議会だより」：226号（平成28年11月発行）～
- 点字による「市議会だより点字版」：送付先は希望者。
- ※ 音声版については、市議会ホームページにも掲載。

中核市議会報コンクールでの受賞

- 受賞日：令和4年4月19日（火）
- 開催地：神奈川県横須賀市（書面開催）
- 受賞内容：第17回議会報コンクールにて、令和3年度発行の「ふなばし市議会だより第1回臨時会・第2回定例会号（第247号）」が優秀賞を受賞。

議会広報の特色

- ふなばし市議会だよりの特色
 1. 一面写真の市民公募により四季折々の風景や行事の様子など、「船橋の魅力」を臨場感ある写真で掲載。
 2. 一般質問の記事を「企画・財政」「防災」など8つのジャンルに分け、市民が興味ある内容をまとめて読めるよう工夫。
 3. 見やすい紙面を目指し、フォントをユニバーサルデザインのゴシック体に変更（平成29年4月～）。
 4. 定例会の流れがわかりやすいよう、目次を合わせた「今定例会の主な流れ」を表紙に掲載。
 5. 「議案の概要」では主な議案をピックアップし、わかりやすい表現で概要を掲載。行政用語には用語解説をつける。

6. 「各委員会の報告」では、議案の概要、賛成・反対討論、採決結果を視覚的にわかりやすく掲載。
 7. 「議決結果」では、会派内で賛否がわかれたものを明示する欄を掲載。
- 247号（令和3年9月17日発行）の特徴
 1. 通常版から4ページ増やし、20ページとして臨時会の概要などを掲載。
 2. 正副議長就任のあいさつ、新議員紹介、各委員会の改選について顔写真付きで掲載。
 3. 夏休みに開催した「オンライン議会見学会」の開催報告を掲載。
 - その他
 1. PDF版「ふなばし市議会だより」を市議会ウェブサイト、スマートフォンアプリ「マチイロ」、電子書籍サービス「地域本棚」に掲載（令和3年11月～）。
 2. 目の不自由な方のために音声版「声の市議会だより」、点字版「市議会だより」を発行。「声の市議会だより」はボランティア団体の協力により音声吹き込み。
 3. 声の市議会だよりは平成28年11月からCD版も発

6. 感想・学び:

- ユニバーサルデザインフォントの使用
- 1回30万部発行の議会だよりの配布を障害者の就労支援、高齢者の健康増進の観点から障害福祉施設・地区社会福祉協議会・老人クラブなどが配布している。
文字数を少なくして見やすい構成である
- オンライン議会見学会の実施
- 広報委員会独自で、学校及びその他に取材に行っている
- 音声版「声の市議会だより」の実施
その他、斬新な取組をしている

7. 提案・今後の課題:

- 市民参加を促進するための施策
オンライン議会見学会も当市でも検討できるように考える
- 広報委員会での、学校取材、地域取材して市民参加の議会だよりを目指す事が大切と考えます。
- 議会だよりの配布が障がい者施設、高齢者などに依頼出来れば仕事支援に繋がるように思う

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 谷口恵世

研 修 名	令和6年度 牧之原市議会議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和6年5月16日(木)
研 修 先	(1) エイベックス株式会社 (エイベックス・アライアンス&パートナーズ株式会社) (2) 千葉県船橋市議会
研修の目的	(1) エイベックス株式会社：市民に手に取ってもらえる広報、アピールの技術について (2) 千葉県船橋市議会：議会広報について (議会だよりについて)
	(1) エイベックス株式会社 ・地域の方が関わることで、手に取ってもらえたり、関わった方が広報者となってくれる。 ・表紙に保育園・幼稚園の子供たちの写真を掲載していることについて良いことであるが、アドバイスとしては、流行りを取り入れたテーマを決め、動きのある写真等にすることも良いのでは。 ・PR効果について、両極端が注目されるため、中途半端な紙面づくりをしないこと。 ・音声ARで多層化、多視点化していく等の観光企画についても伺った。 (2) 千葉県船橋市議会 ・船橋市議会広報委員会 12名（会派3名に1名の割合での委員会構成） ・配布方法として、全世帯へポスティングしている（約30万部）。 配布の依頼先として、地区社会福祉協議会（1団体）、老人クラブ（6団体）、障がい福祉施設（17施設）、一般事業者（1事業者）。 障がい福祉施設が配布数の8割を占める。 ・音声版市議会だより（声の市議会だより） 市議会だよりの音声版（カセットテープ&CD）を発行し、視覚に障害がある方などへ送付している。 ・議会への関心を高めるための取組みとして、小中高生対象に議会見学会・意見交換会と、高校等への出前講座を広報委員会で行っている。 ・市民の市議会や議員に対する現状認識、今後市議会に求められる取り組みについて把握・分析することを目的として、市民アンケートを実施。 ・UDトーク（音声認識ソフト）を用いた字幕配信を本会議の生中継に対し実施している。（予算316,000円/年）

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 石山和生

研修名	令和6年度 牧之原市議会議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和6年5月16日(木)
研修先	(1) エイベックス株式会社 (エイベックス・アライアンス&パートナーズ株式会社) (2) 千葉県船橋市議会
研修の目的	(1) エイベックス株式会社：市民に手に取ってもらえる広報、アピールの技術について (2) 千葉県船橋市議会：議会広報について (議会だよりについて)
<p>エイベックスの研修では、人に興味を持ってもらうための手法であったり、アイデアについて学ばせていただいた。特に、目から鱗であったのは、ヒトを呼ぶコンテンツのインパクトがあるもの一つよりも、小さいインパクトでもたくさんのコンテンツがある方が人は魅力的に感じるということである。これは、広報誌の考え方にも共通するものがあるはずである。</p> <p>船橋市議会では、非常に興味深かったのは広報誌の配布方法である。基本的にはポスティングを委託するのだが、委託先が基本的に社会福祉法人である点が非常に素晴らしい。今後自治体組織というのが、崩壊するタイミングが出てくることが予想される中、このような解決策もあるということは頭に入れておくべきだと強く感じた。</p>	